

教科	音楽
----	----

目標	表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。
将来の生活に向けて授業で付けたい力	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に対する興味・関心を高め、音楽の良さや美しさを感じ取る豊かな心 歌詞の内容や曲想などを感じ取り、イメージをもって歌唱表現しようとする力 楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する力

学習評価

	観点	評価について
a: 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造などとの関わりや音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、身体表現で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に取り組む姿勢 プリント記入 授業での発言・発表 提出物
b: 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。 どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言・発表 プリント記入 小テスト
c: 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に取り組む姿勢 授業での発言・発表 実技テスト

関連する行事等

2年: 文化祭ステージ発表(10月)

使用教科書

1年 高校生の音楽 I (教育芸術社)
2・3年 高校音楽 I 改訂版 Music View (教育出版)

学習内容

<音楽科 1学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4月・5月	オリエンテーション ・発声練習 ・校歌 ・花	(知)正しい姿勢や口の開け方に気を付けて歌う。 (知)イメージをもって音楽表現するために必要な歌唱の技能を身に付ける。 (思)自分が感じたことや友達の気づきをもとに、どのように歌うかについて考えながら歌う。 (主)歌詞が表す情景や味わいに関心を持ち、意欲的に練習に取り組む。
	6月・7月	音楽をつくっている要素 ーリズムの働きが生み出す魅力ー ・リズムアンサンブル ・楽典(音符、休符、記号、リズム)	(知)音楽を形づくっている要素を理解し、それらの働きを演奏者はどのように表現しているか聴き取る。 (思)リズム譜を見ながら拍子やリズムなどの音楽の特徴を感じ取って、合図に合わせて打楽器を演奏する。 (主)互いに助言し合いながら意欲的に練習に取り組む。 (主)楽器の音色や速度の変化等に興味をもって鑑賞する。
	9月・10月	箏(こと)に親しもう ・虫づくし ・さくらさくら ・六段の調べ	(知)箏の正しい扱い方、名称を理解する。 (知)糸の番号と位置を覚え、正しい姿勢や奏法を意識して箏を演奏する。 (思)どの糸も同じ強さや音色で弾けるよう、楽器の傾斜に合わせて爪の角度を調整し、演奏する。 (主)箏の構造や歴史に興味を持ち、練習に意欲的に取り組む。
後期	11月	平家物語と日本の音楽 ・日本音楽史	(知)古典音楽や古典芸能の特徴を理解して鑑賞する。
	12月	物語と音楽の関わり ー映像における音楽の効果ー ・JAWS ・ゴジラ	(知)物語と音楽のかかわりを、映像作品における音楽の役割や効果から理解する。 (思)音楽と他の文化が互いにどのように影響し合ってきたかを考える。
	1月・2月	イメージをもって演奏しよう ・木星	(知)キーボードを弾くために必要な奏法を身に付ける。 (知)リズムに合わせて、楽譜どおりにキーボードを演奏する。 (思)オーケストラの響きや特徴を感じ取り、イメージをもって演奏する。
	3月	言葉を大切にしてお歌おう ・卒業の歌	(思)(主)歌詞の内容とのかかわりに関心を持ち、自分が感じたことや友達の気づきをもとにどのように歌うかについて考えながら歌う。 (知)合唱の特徴を生かした音楽表現をするために必要な発声、姿勢や身体の使い方、読譜の仕方など身に付ける。

学習内容

<音楽科 2学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4・5月	イタリア語とドイツ語の歌曲に挑戦 ・野ばら(シューベルト) ・歌曲「ます」 ・Caro mio ben (5)	(思)(主)各時代の音楽や作曲家による表現の特徴、曲想と楽曲の背景に関心を持ち、イメージをもって歌ったり、鑑賞したりする。 (知)いろいろな歌手の演奏に親しみながら、ドイツ語とイタリア語の言葉の特性や発音の違いを理解する。 (知)音楽記号や用語の意味を理解する。
	6・7月	ボディーパーカッションの楽しみ ・ROCK TRAP (5)	(知)リズム譜を見ながら拍子やリズム、強弱などの音楽の特徴を感じ取って、楽譜どおりに、身体表現をする。 (思)(主)同じパートの友達とコミュニケーションを取りながらリズムや身体表現の練習をし、他のパートとタイミングを合わせてアンサンブルをする。
	9・10月	箏(こと)アンサンブルをしよう ・さくらさくら (7)	(知)(思)正しい姿勢や、曲にふさわしい奏法を身に付け、創意工夫を生かした音楽表現をする。 (思)全体の響きや各旋律を聴きながら、友達と合わせて演奏をする。 (主)互いに助言し合いながら意欲的にペア練習に取り組む。
後期	11月	ポピュラー音楽のルーツをたどる ・ジャズ ・フォーク ・ロック ・ラテン ・レゲエ (2)	(知)ポピュラー音楽の成り立ちをたどりつつ、楽曲が生まれた文化的・歴史的背景と関連付けて理解する。 (思)ポピュラー音楽を、日本や諸民族の音楽と比較し、音楽の歴史的流れから日本の音楽文化と生活や社会との関わりを考える。
	12・1月	日本の民謡と芸能に親しもう ・日本全国の民謡と芸能 (6)	(知)民謡が人々の暮らしと結びついて伝承されていることを知り、郷土の文化に対する理解を深める。 (思)それぞれの民謡の種類や囃子ことば、リズムの違いに気づき、まとめる。 (主)日本の伝統音楽と様々な国の音楽を比較し、音楽の違いや特徴に関心を持ち、鑑賞したり、表現したりする。
	2・3月	西洋音楽に親しもう ・オーケストラ ・室内楽 ・オペラ (6)	(知)様々な楽器の種類や特徴を知る。 (思)楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家による表現の特徴を理解して楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを味わって聴く。

学習内容

＜音楽科 3学年＞

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4 ・ 5 月	<p>豊かな歌声を目指して</p> <p>－ア・カペラにチャレンジ－</p> <p>－日本歌曲－</p> <p>・見上げてごらん夜の星を</p> <p>・この道</p> <p>(12)</p>	<p>(知)発声のエチュードに取り組み、豊かな響きのある歌声の基礎となる技能を身に付ける。</p> <p>(主)ア・カペラの合唱で声を響かせ、協力し合いながらアンサンブル活動を楽しむ。</p>
	6 ・ 7 ・ 9 月	<p>アンサンブルの楽しみ</p> <p>－器楽合奏－</p> <p>・威風堂々</p> <p>・ラデツキ－行進曲</p> <p>・アイネ・クライネ・ナハトムジーク</p> <p>・花は咲く</p> <p>(14)</p>	<p>(知)自分のパートの役割や他のパートとの掛け合いを理解する。</p> <p>(思)お互いの音を聴き合いながら担当した楽器を演奏する。</p> <p>(思)音色、リズム、旋律、強弱などの特徴や雰囲気を感じながら、どのように表すかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。</p>
後期	10 ・ 11 月	<p>物語と音楽のかかわり</p> <p>－日本と西洋の比較を通して－</p> <p>・ヴァルキューレの騎行</p> <p>・雅楽(舞楽)『蘭陵王』</p> <p>音楽の要素と働き</p> <p>－音素材を選んで音楽をつくらう－</p> <p>(14)</p>	<p>(思)日本と西洋の舞台芸術を比較し、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を聴き取り、それぞれの音楽のよさや面白さ、美しさを感じる。</p> <p>(知)形式や構成を理解し、音楽をつくることができる。</p> <p>(主)グループで協力し合っ、音素材を選んだり、形式を考えたりして、表現したい音楽をつくる。</p>
	12 ・ 1 ・ 2 月	<p>・音楽会を開こう</p> <p>－卒業演奏会に向けて－</p> <p>(14)</p>	<p>(主)1年間の学習のまとめとして音楽会を実施する。それぞれ選択した表現方法と表現形態で独唱、独奏、小アンサンブルなどで音楽表現を工夫したり、クラス全体での合唱やバンド・アンサンブルをしたりしながら、音楽活動の喜びや楽しさを味わう。</p>

